



つつじが丘

第97号
発行
つつじが丘コミュニティ
広報部会

つつじが丘の秋まつりだ「わっしょい」

今年も恒例の秋まつりが10月5日(土)6日(日)の2日間にわたり盛大に行われました。前日には雨が降り天候が心配されましたが、無事に開催する事が出来ました。

土曜日の早朝から、テントの設置に始まり神輿の組立や餅つきの準備などを実行委員やみこし保存会の皆さんが協力して作業を行いました。

夕方からの宵まつり開始前には、多くの人が集まり午後5時の出店開始と同時にお店の前には多くの人が集まり長い列が来ていました。また、秋まつり恒例となっている町内餅つきが始まり、つきたての餅が配布されると順番を待つ人達が長い列を作っていました。宵まつり式には、宮島市長を始め地元の県会議員や市会議員など多くの来賓から挨拶があり、その後みこし保存会の皆さんによる「ふるまい酒」が行われました。

ビンゴゲーム大会では、参加した人達は番号が読み上げられる度に持っているカードの番号を真剣な眼差しで確認しており、ビンゴとなった人は嬉しそうに賞品を受け取りに行きました。他にも、チアダンスと和太鼓演奏の催し物があり、宵まつりを盛り上げてくれました。

まつりの最後には、抽選会が行われ当選した人達は嬉しそうに賞品を受け取っていました。



2日目は曇りの予想が、昼頃より晴天の祭り日和になりました。初めに神輿の出発式が行われ舞台の前に揃った神輿と共に参加者全員で祭りの安全祈願が行われ、子ども神輿・各町内神輿・花車・コミュニティ神輿の順に各町内へと出発して行きました。各町内での練り歩きの中で、色々な家庭からご祝儀を頂きその家の前で神輿が披露されていました。

お昼前には全ての神輿がコミュニティセンター前に集結し、子ども達の神輿が順番に入場して揃った後、子ども達へたくさんのお菓子が撒かれ楽しそうに拾い集めていました。

その後、各町内の神輿が「ワッショイ・ワッショイ」のかけ声と共に入場し、とくに3丁目の女性陣による色鮮やかな法被姿の女神輿には目を引かれました。最後に、コミュニティ神輿がみこし保存会の皆さんによる威勢の良い掛け声と共に力強く神輿を担いで場内を駆け回りました。

すべての神輿が入場した後、本祭り式が行われ引き続き、みこし保存会による餅投げが二ヶ所に別れて行われ大盛り上がりの中、今年の秋祭りが終了しました。



「暑さに負けない熱い想い」

7月21日(日)につつじが丘小学校体育館にて、子ども部会主催の子ども縁日が開催されました。おやじの会の方々と6名の中学生スタッフが初の試みとなる子ども縁日を盛り上げるために集いイベントを盛り上げました。縁日に参加した子ども達は、額から汗を流しながらボーリングや射的など5種目に挑戦し、会場内から歓喜の声が上がっていました。そして、縁日の締めにはお菓子投げが行われ抱えきれない量のお菓子を手に入れた子ども達は帰路に付きました。

初挑戦・初開催と言う事もあり、多くの課題が残るイベントになったと思いますが子どもの成長と同様に企画自体も少しずつ成長していけば良いと感じました。今回は子ども部会長の鶴田さんが熱い想いを持って新たなイベントに挑戦した様に、若い世代の方々が新たな目線で今までに無いイベントの立ち上げに挑戦しやすい地域になって行くといいと感じさせてもらえた素敵な縁日となりました。



LINE 公式アカウント

子ども部会は、いつでも新規会員を募集しています。気になる方は上のQRコードをチェックして下さい。



50周年記念自治会団地まつり

9月8日(日)に団地内の公園(通称パンダ公園)で、毎年恒例の団地まつりが開催されました。今年、自治会が出来て50周年と言う事もあり記念の団地まつりとして開催しました。予想最高気温が35度となる残暑の中、朝から役員の皆さんがテントの設置や店舗の準備を行った後、各店舗で販売する焼き鳥・焼きそば・みたらし団子・ビール・ジュースの商品を開店時間に合わせて販売の準備を行いました。

開店時間の11時30分には、本部の金券売り場前には金券を購入する人の列が出来ていました。そして、金券を購入した人はお目当ての商品を求めて売り場の前に並んで購入していました。なかでも、今年は子ども向けに「自分で作る綿あめ」のコーナーがあり真剣な顔で綿あめ作りに取り組んでいる子ども達の姿が見受けられとても微笑ましく思いました。

まつりの最後には、豪華賞品の当たる抽選会が行われ当選した人に賞品が手渡され、50周年記念の団地まつりは無事に終了しました。

